

7/12

新町保育園の園児が呼びかけ 交通安全キャンペーン

新町保育園の年長児 9 人が、ハッピータウンで買い物客にチラシと反射材を手渡し、交通安全を呼びかけました。

7月11日から20日までの「夏の交通安全県民運動」の一環として行われ、市のマスコットキャラクター「ひみぼうずくん」と交通安全キャラクター「ぴょん太くん」も参加し、店内には、園児が描いた横断歩道での事故防止を訴える塗り絵が展示されました。

期間中はこの他にも、湖南小学校の児童がシートベルトの着用などを呼びかけるなど、市内全9か所で交通安全の啓発活動が行われました。



©藤子スタジオ

7/22

市内5か所で 氷見まちなか音楽祭

市の中心市街地にある飲食店など5か所を会場とした音楽イベント「氷見まちなか音楽祭」が初開催され、チェロ、バイオリン、ピアノの奏者や、テノール、ソプラノ、演歌、民謡の歌手などの多彩な音楽家が演奏や歌声を披露しました。

有志で結成された団体「HIMI まちサンガ」が、音楽で街を盛り上げようと企画したもので、市のおらっちゃん創生支援事業を活用しています。

丸の内にあるレンタルスペース「無尽蔵」では、「ひみ第九」総監督を務めるテノール歌手、澤武紀行さんがリクエストに応じて歌唱し、来場者は迫力ある歌声に聞き入りました。



7/22

幻想的な空間で 竹ドームコンサート

飯久保の里山「絆の森」で竹ドームコンサートが開催され、湖南小学校の児童と十三中学校の生徒の合唱やリコーダー演奏が夕暮れの竹林に響きました。

湖南小学校のPTA親子活動の一環として毎年開催しているもので、5年生がリコーダーで「いつも何度でも」を演奏し、6年生が竹で作った楽器の演奏と「ひまわりの約束」の合唱を披露し、十三中学校の生徒が「結」を合唱しました。

また、正派「終会」や高岡ギターアンサンブル、子育て中の母親グループ「エンジェルズ」による演奏も行われました。



8/1

みんなできれいに 氷見クリーン大作戦

市内外の団体・企業や市民、ボランティアの皆さんが一丸となり、漁業文化交流センター付近から氷見漁港内、松田江浜、島尾海岸や松林一帯を清掃しました。

「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟している富山湾や海越しの立山連峰などの美しい景観や生態系を守ることを目的に毎年行われています。

今回は「海も山も心も繋がっている。頑張ろう氷見!!」をスローガンに、朝7時から大勢の人が、海岸に漂着したプラスチック製容器包装ごみなどを拾い集めました。



8/1

海のフェスティバル 青い海ヨット・カヌー体験

氷見市体育協会が主催する海のフェスティバル「青い海ヨット・カヌー体験」が阿尾海岸で開催され、小中学生9人が参加しました。

市セーリング協会員やB&G海洋センターの指導者から、カヌーの乗り方やヨットの帆の張り方などを学びました。この日は程よい海風があつて天候に恵まれ、参加者は、普段は見慣れない海上からの美しい景色を楽しみ、氷見の夏を満喫しました。

